

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	塩見・財光寺地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県	450006	1	H25～	H25～
日向市	450068		H28	H27
活性化計画の区域				
宮崎県 日向市 塩見・財光寺地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する遊休農地の解消	1.0ha	3.0ha	300%	
定住等の促進に資する農業用水施設等の機能の確保	146.0ha	146.0ha	100%	

(コメント)

自然流下方式から貯水槽ポンプ揚水方式にすることで、用水の安定供給に繋がり、遊休農地の解消の促進に寄与した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用排水施設	取水口改良（樋門・ポンプ）一式		日向市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
日向市	平成25年度	平成28年度	平成29年4月1日
事業の効果			
河川からの取水の安定供給に寄与し、従来の仮設ポンプ設置撤去等の手間及びランニングコストの軽減が図れた。			

3 総合評価

(コメント)

本事業により、河川からの取水が安定した結果、受益者にとって用水に苦慮することなく、田植えに専念できるようである。その結果、遊休農地の解消にも効果が現れた結果となった。典型的な中山間地域である当地域は、地形の厳しい農地条件のなか営農に取り組んできた。

4 第三者の意見

(コメント)

当地域は、地形条件が厳しく担い手が減少するなか営農に取り組んでいたが、耳川の河床変化や流量低下により用水の安定供給が図れない状況にあった。

今回、自然流下方式から貯水槽ポンプ方式にすることにより、用水を安定して供給できるようになり、遊休農地の解消、並びに農業用水施設等の機能の確保が推進されるとともに、ランニングコストの軽減等が図れた。今後、生産性の向上や収益の安定化が期待されることで、遊休農地の解消と農業後継者の確保が進み、一層の地域活性化が図られるものと見込まれる。

(宮崎大学 農学部 教授 山本 直之)